

横川中学校

創立記念講話



令和4年12月5日

「横川中学校」の歴史

昭和22（1947）年4月28日 開校

◆開校当時は「河内郡横川村立横川中学校」

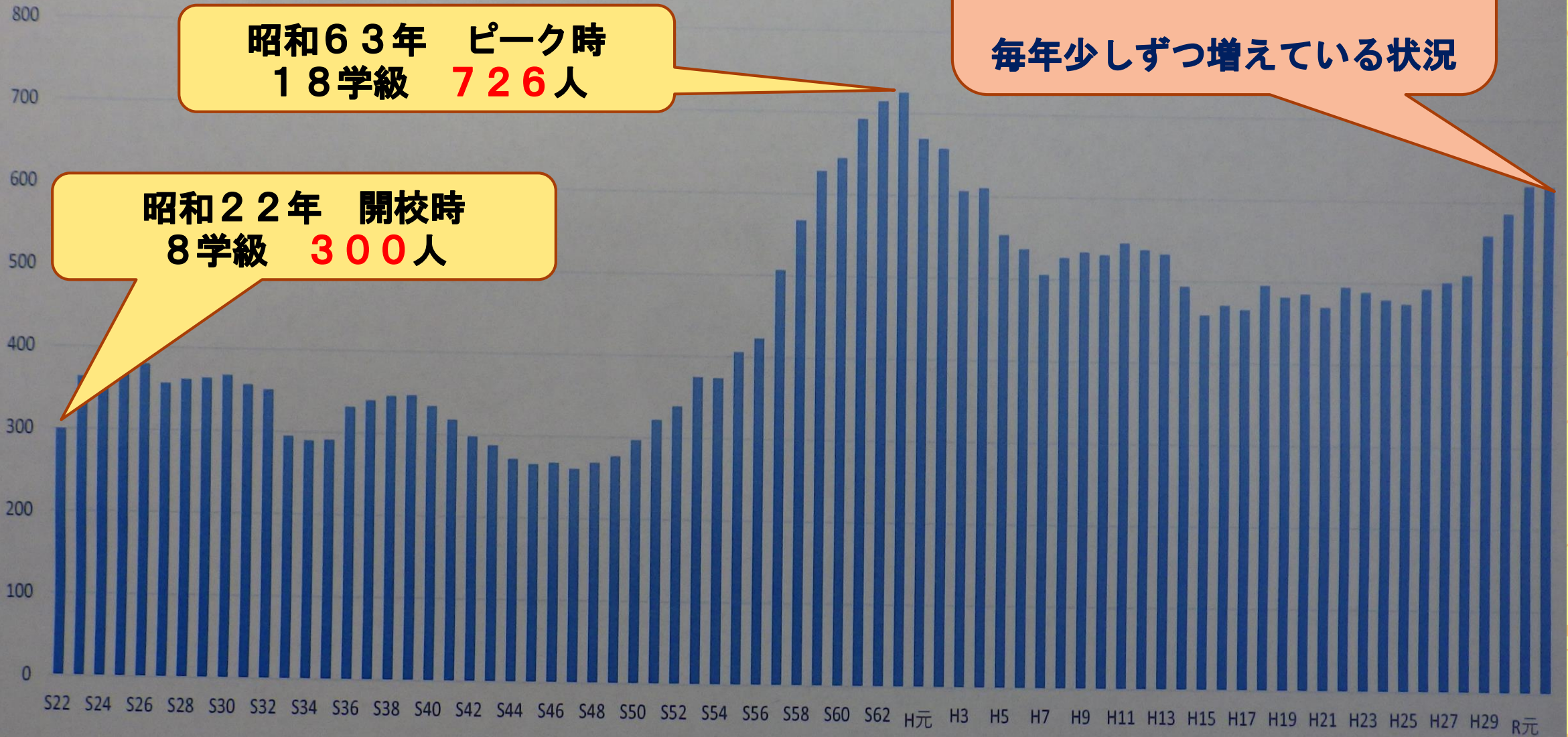
今の「横川中央小学校」の場所で、青年学校の教室を借りて開校（8学級300名） ※第1期卒業生はわずか57名

**昭和23年12月5日 独立校舎として、現在の場所に竣工
この日を創立記念日と定めた。**

◆昭和29年に横川村が宇都宮市に編入し、
校名を「宇都宮市立横川中学校」としてスタート

今年は **75** 回目の創立記念日

横川中生徒数の変化



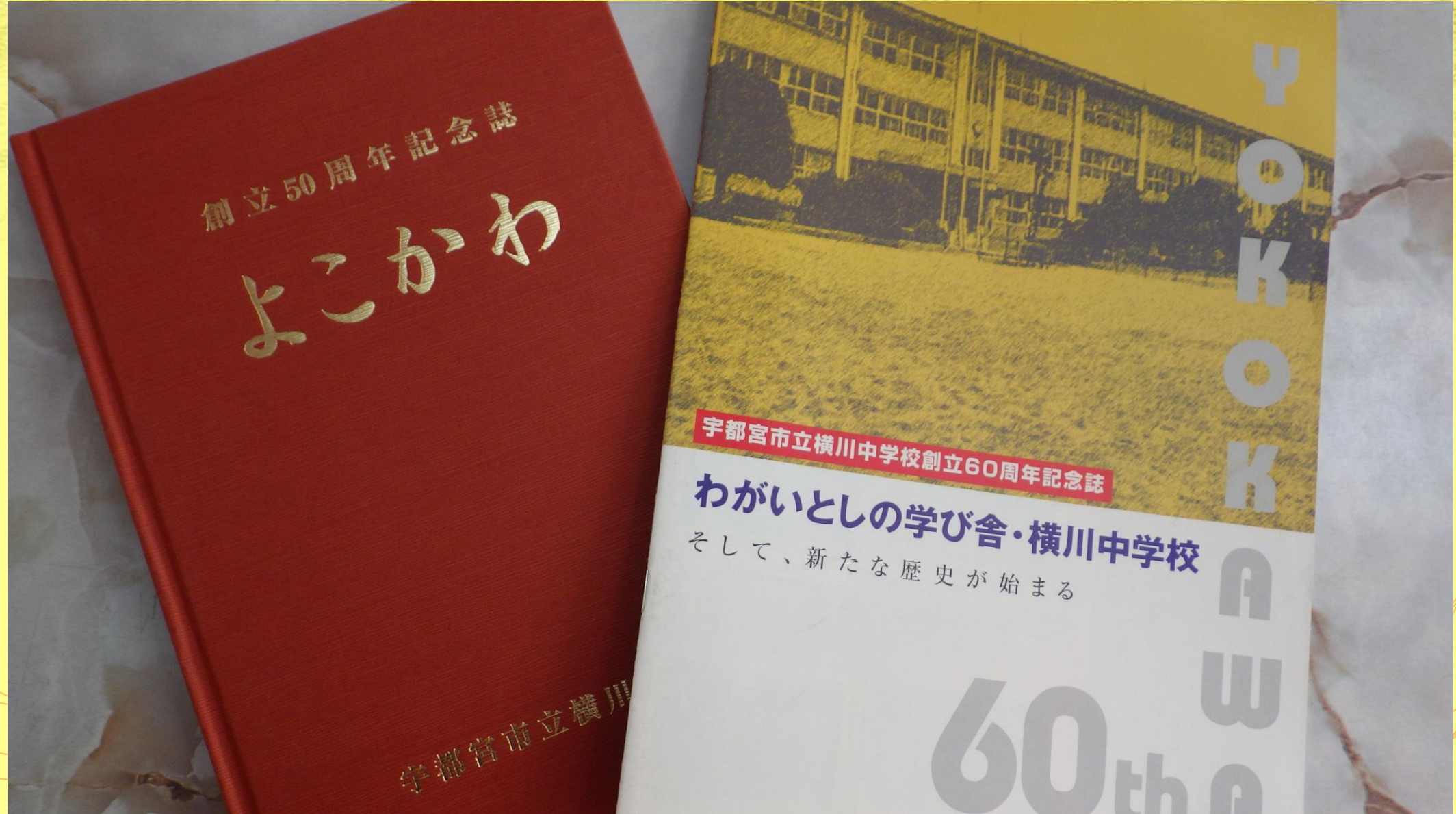
今年3月に卒業した生徒を入れて

10,924人

の先輩が学んできた伝統ある学校



「創立記念誌」から学校の歴史をふりかえってみましょう・・・

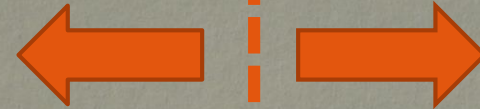


昭和22年開校当時の見取り図

(現在の横川中央小学校の場所です)

● 開校当時の学校配置図 ●

こちら側に横川中学校
が併設された。

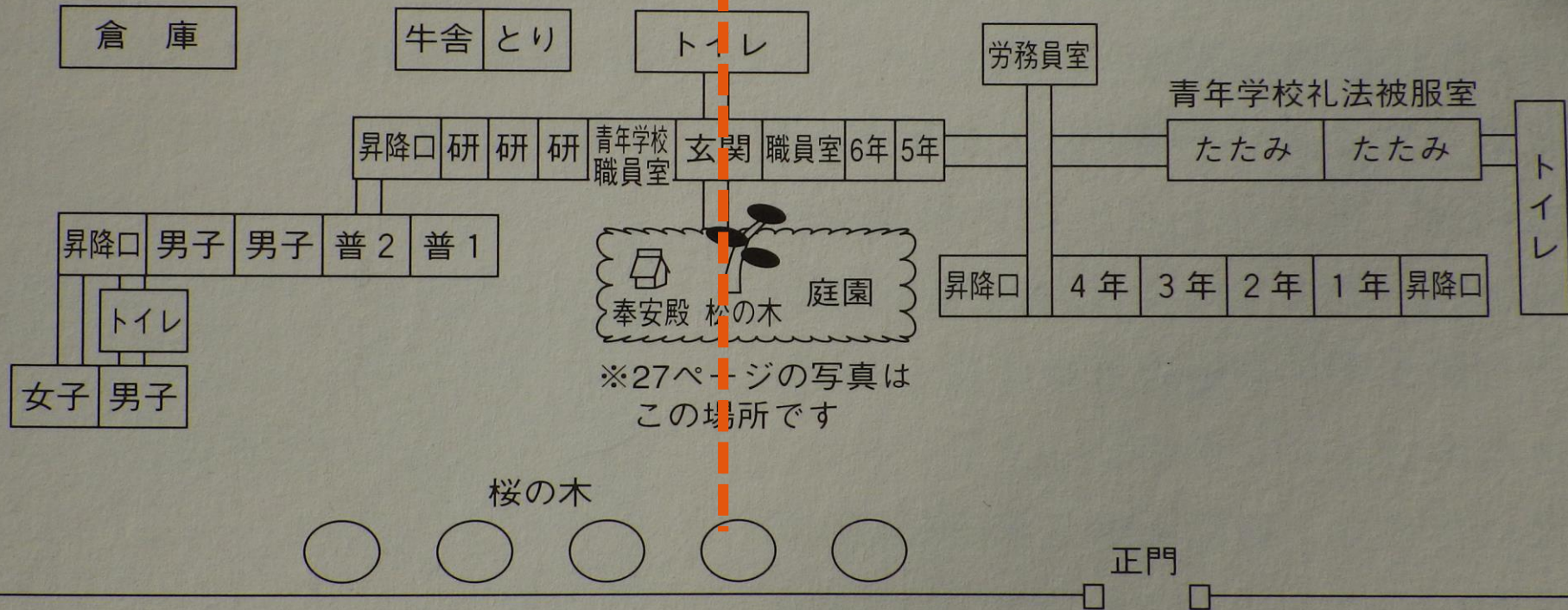


横川青年学校

横川中央小

横川農協

上三川街道



川

創立当時の校舎

昭和23年12月5日

現在の場所に、古材を使って建てられた木造校舎でした。

下の方に白く写っているのは「砂田街道」
この時に、小指くらいの太さの桜の苗木を校庭南側に植えたそうです。
今では立派な大木になっていますね！



砂田街道

戦後の貧しい時代、横川村中の各家から寄付を集めて校舎新築にこぎつけたそうです。
それだけ、「子どもたちに教育を受けさせたい」という地域の思いが強かったのでしょう。

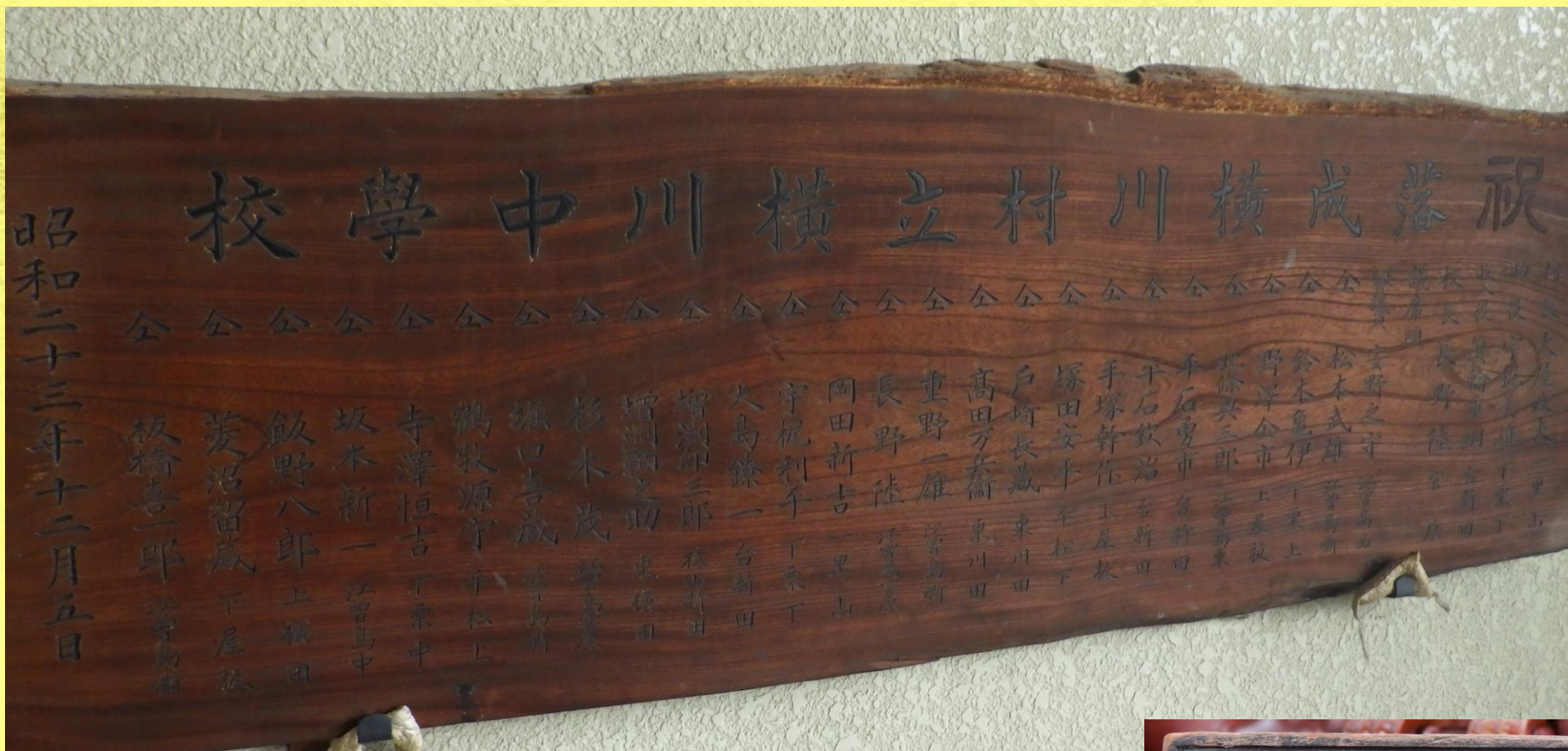


昭和23年10月「校舎新築記念」

玄関前にて（校舎建築に尽力された方々？）



当時の「門標」



上：昭和23年12月の落成の際に贈られたプレート
地区内の各自治会長さんと思われる方々のお名前が彫られています。（玄関に飾ってあります）

横：木彫りの校標（門に付けてあったと思われます）
いつの時代のものかは不明です。
（校長室に飾ってあります）



「校章」について



「校章」の由来

◆校章は、開校と同時の昭和22年に作られた。美術や理科を担当していた、中谷 定先生がデザイン。

◆「横中」の文字を栃の葉で囲んだのは、宇都宮のみならず**栃木県**の**横川中**という意味。

◆ふちどりの青は、**若々しさ・青春**を表す。

◆文字の白は、**純粹さ・潔白さ**を表す。

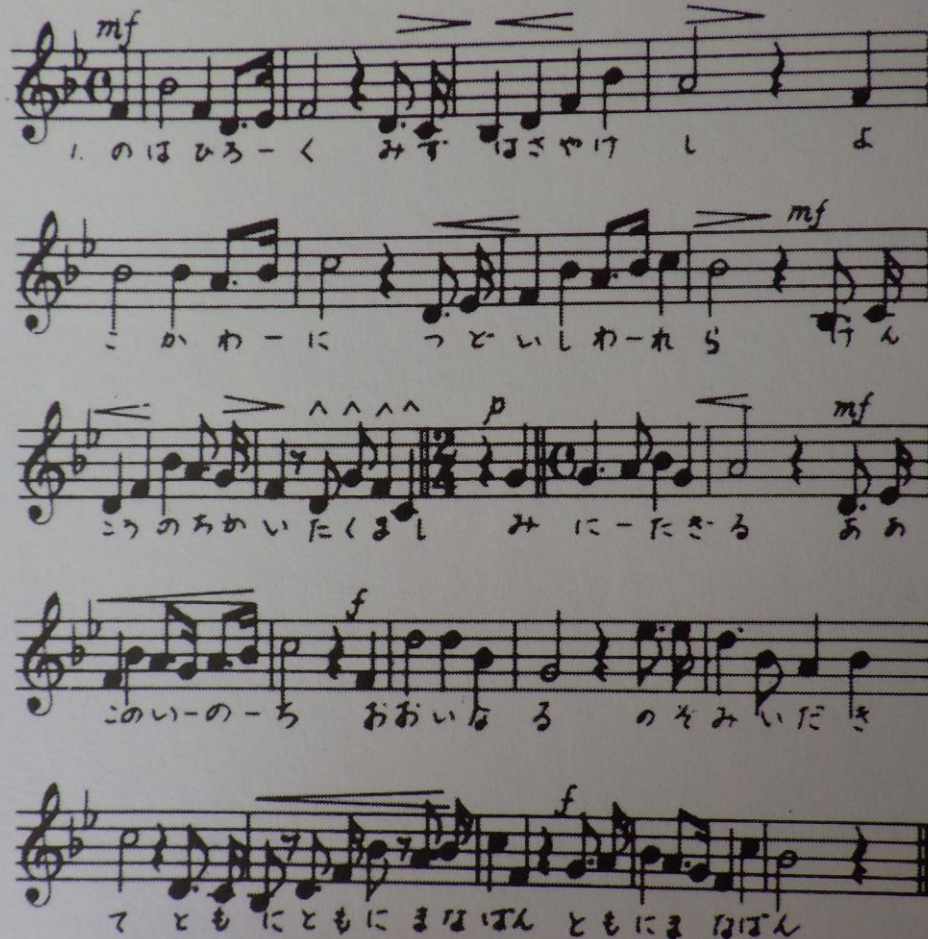
校歌制定：昭和29（1954）年12月5日

（創立から6年後）

宇都宮市立横川中学校校歌

作詞 岩崎良能
作曲 石井信夫

いきいきと ♩=108



校歌

作詞 岩崎良能
作曲 石井信夫

一、野はひろく 水はさやけし
横川に つどいしわれら
健康のちかい たくまし
身にたぎる ああこの生命
大いなる 希望いだきて
共に共に学ばん 共に学ばん

二、森かげに 風はおえり
横川に つどいしわれら
純潔のねがい うるわし
手をつなぐ ああこの力
清らなる 真理求めて
共に共に磨かん 共に磨かん

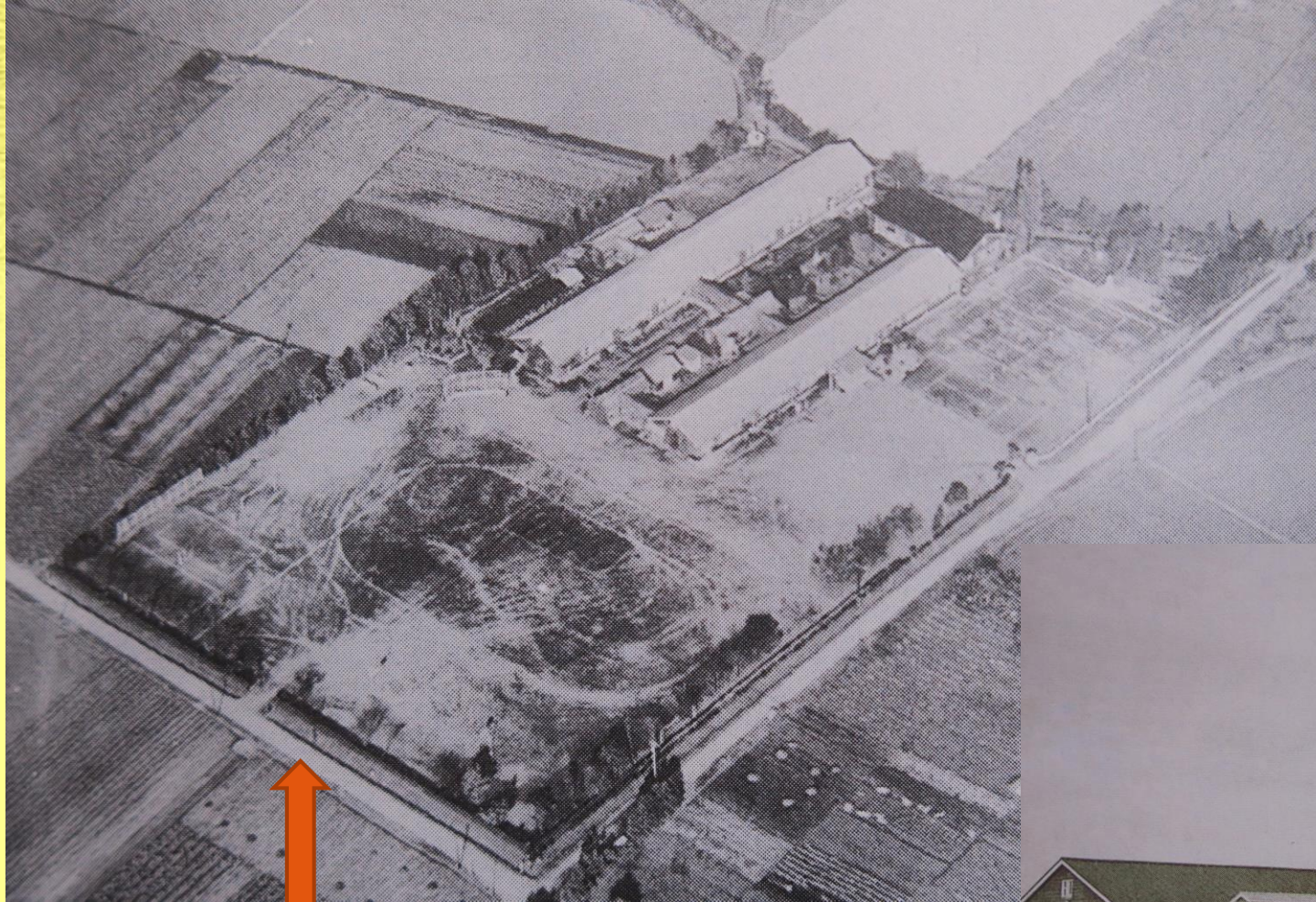
三、山はるか 光あふれる
横川に つどいしわれら
校風のさかえ かぐわし
眉あげて ああこの誇
新たなる 理想かけて
共に共に進まん 共に進まん

作詞：岩崎良能

作曲：石井信夫

作詞された岩崎良能氏は、第2代目の校長先生です。
作曲された石井信夫氏は、高校教師として宇都宮に赴任し、合唱団や吹奏楽団を創立するなど、栃木県の音楽活動に大きな功績を残した方のようにです。

昭和30年代のころ①



砂田街道

昭和32（1957）年の校舎



昭和30年代のころ②



授業の様子



卒業式



運動会

校旗制定：昭和40（1965）年3月2日

（創立から約17年後）



昭和40年代のころ①



学校を南側から撮影。 校舎は木造1階平屋建てのままです。

昭和40年代のころ②



昭和45（1970）年
【体育館兼講堂】落成

※現在の部室のあたりに建てられました。



昭和40年代のころ③ ～学校行事～



昭和50年代のころ①



昭和53（1978）年 **新校舎の建設に着工**

約30年間使われてきた木造校舎とバトンタッチ間近です。

昭和54（1979）年

鉄筋コンクリート3階立ての
南校舎が完成



昭和50年代のころ②



昭和55（1980）年1月 **新校舎落成**

この落成により、現在の校舎の原型（3階建て校舎2棟）が完成

時代とともに変化した運動会（体育祭）

昭和44（1969）年から「運動会」が「体育祭」に変わりました！
昔は，ユニークな種目があったようですね。



「女子棒倒し」（昭和54年）



「とびつく蛙」（昭和31年）



「安来節（やすきぶし）」
（昭和52年）

時代は「昭和」から「平成」へ

生徒数増加のピーク（726人）

◆東校庭の拡張（平成6年～8年）



この拡張工事によって、野球部やサッカー部・陸上競技部が、それぞれ交錯することなく練習ができるようになりました。



創立50周年記念

平成9（1997）年12月5日



できたばかりの東校庭での記念撮影です。

創立60周年記念

平成19（2007）年12月5日

この年の3月に新体育館が落成しました。

武道場は平成20年3月に完成しました。



75年間の学校の歩みを駆け足でご紹介しました。

「今日は学校の誕生日」だということを思い、

75年間の歴史を感じながら校舎内外を観察してほしいと思います。

そして、

「地域の人たちの温かい心のおかげでできた学校」ということに感謝しながら、大切に
使ってほしいと思います。